



古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和6年度 第40号

11月21日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 大高 文雄

「数学検定」終わる



先週の金曜日の放課後は、希望者による「数学検定」を行いました。(年1回、希望する生徒のみ公費受検可) どうしても漢検や英検ほどの申込はありませんが、少数精鋭で合格目指して真剣に取り組む姿が見られて、嬉しい限りです。

一般的に「数学が苦手」、「数学は嫌い」という子ども達が多い傾向が見られます。また、進路先として文系と理系に分かれる時に、理系(数学や理科)を選択するのは

男子の方が多いです。一部の大学の理工学部では、入試の際に女子枠を設けるなど、「リケジョ」を増やそうという動きになっているようです。

「数学が好き」「数学は面白い」「問題が解けた時の達成感が好き」など、意欲的に取り組む子ども達が増えるよう、日々の授業に取り組んでいきたいものです。

「放課後学習会」



明日が1・2年生は「期末テスト」、3年生は「第5回実力テスト」を実施します。その対策として、放課後学習会を限られた時間の中ですが実施しました。子ども達は各教科に分かれて、自学自習をしたり、先生や友達に聞いたりしたりするなど、真剣に取り組む姿が見られ嬉しく感じます。

しかしながら、「計画通り進んでいる?」「テスト

に向けて、大丈夫?」などと声をかけると、ほとんどの生徒が「ヤバいです。」「無理です。」とのこと。2週間前から範囲表が配付され、計画を立ててはるはずなのですが、思うように進んでいない生徒が多いようで、少し心配です。

一般的に、テスト前の学習量としては、テスト範囲を3回繰り返すのが1つの目安となります。教科書を読んだり、ノートを読み返したりするだけの1回では、授業の一部を思い出す程度にしかありません。2回目で半分程度、3回で8割程度です。その後、ワークブックや配付されたプリント等を繰り返すことで、出題問題が予想できたり、足りない部分や不確かな部分を補えたりできるので、ある程度の自信をもって本番に臨めるかと思えます。明日がテストなので、5教科分のテスト範囲を何回も繰り返すことは物理的にできませんが、頑張ってもらいたいです。ご家庭においても、お子さんへの励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

「卓球女子」県大会へ

今週末の土曜日は、卓球女子が猪苗代町で開催される県新人戦へ出場します。この後も、各競技で協会主催の地区レベルや県レベルの大会、招待試合などがありますが、本校が出場する部活動の新人戦は一区切りを迎えることになります。

9日(土)の50周年記念式典の日に行われた女子バスケットボール部と女子剣道部は惜しくも1回戦惜敗だったので、大トリとして女子卓球部に期待したいところです。出場チームの登録メンバーを見ると、ほとんどは2年生主体のメンバー構成になっています。本校はその逆で、2年生が2人のチームです。しかし、この2名と成長著しい1年生の力を上手く噛み合わせて、接戦に持ち込めばチャンスはあると踏んでいます。卓球の応援は、ハラハラドキドキで心臓に悪いですが、観戦していて楽しいのも事実です。保護者の応援も含めて「チーム古中」で頑張ってもらいたいです。

